

会 議 録

1 会議名

令和元年度第7回直江津区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

地域活動支援事業（追加募集）について（公開）

3 開催日時

令和元年9月3日（火）午後6時00分から午後6時40分

4 開催場所

上越市レインボーセンター 第三会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 青山恭造（会長）、竹内明美（副会長）、増田和昭（副会長）、
青山義一、磯田一裕、伊藤邦雄、今川芳夫、河野健一、久保田幸正、
小林克美、坂井芳美、田中美佳、田村雅春、中澤武志、丸山朝安、
水澤敏夫（欠席2名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、小池係長、霜越臨時職員

8 発言の内容

【滝澤センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【青山恭造会長】

- ・挨拶
 - ・会議録の確認：河野委員、久保田委員に依頼
- 議題【協議事項】地域活動支援事業（追加募集）について、事務局へ説明を求める。

【小池係長】

- ・資料No.1「令和元年度直江津区地域活動支援事業提案書受付一覧（担当課所見あり）」に基づき説明。

前回の会議で、「No.1 福島城の顕彰事業」について、「使った分の電気料を会から負担してもらい、電灯を点けるという検討はなかったのか」という質問があったが、市の用地管財課と提案者である福島城を愛する会に確認をしたところ、現在の施設を使うと決まった時に、電気についても話し合いがあったとのこと。その際、電気を使うとなると建物自体が大きいので、電気の容量も大きくなり、その他に基本料金も毎月掛かってくるので会から「工事費や電気料金の全てを負担することはできない」ということで、新たな電気工事等を行わなかったとのことであった。

【青山恭造会長】

それでは、提案No.1から順番に協議していきたいと思う。

「No.1 福島城の顕彰事業」について質疑を求めるがなし。

次に「No.2 直江津小学校区地域安全・防災教育推進事業」についてはどうか。

【中澤委員】

回答の中で「避難所開設の役割分担は昨年と違う作業を行うように変更した」とあるが、どなたが参加していて、どのように変更したか。分かる人がいれば教えていただきたい。

【小池係長】

詳しい役割分担については聞いていないが、毎回同じ作業を訓練すると、いざという時に特定の人しか設置できないという状況になってしまうので、各町内で行う作業を変更すると聞いている。

【中澤委員】

作業分担といっても、町内会の役員も人が変わるので、町内会ごとに作業分担を変更しても継続性はどうかと心配である。

【田村委員】

児童や親はどういう立場で来ているのか。ただお客さんで来ているのか、避難して来ているのか。運営等は町内の役員や防災士が行うのか。その辺が少し分からないので、分かれば教えていただきたい。

【小池係長】

昨年の避難所設営の訓練は、児童が6年生全員と各町内会の役員など60人はいたのではないかと記憶しており、今年も昨年と同程度で行う予定だと聞いている。

活動としては、まず、児童と一緒にダンボールのベッドを作る体験を各町内で行い、それから、屋外にガスコンロをいくつか置き、ビニール袋にお米を入れて炊き、その後の分配も児童は一緒に行っていた。避難所の市担当職員も来ており、テレビや電話の設営については大人が実際にやってみた。

【青山恭造会長】

次に「No.3 直江津区子ども健全育成事業」について質疑を求めるがなし。

次に「No.4 安全・安心な緊急避難支援事業」についてはどうか。

【田村委員】

質問で「投光器の最長点灯時間はE c oモードで約6時間、H i g hモードで約2時間なのですが、停電時及び電池が無くなった時の対応はどうするのですか」に対し「指定避難所で備蓄機材として置いてある発電機を併用します」と回答をいただいているが、市の担当課から「市が配備する備蓄品と混同しないよう区別してください」と所見が来ている。指定避難所の発電機を本当に使用しても良いのか。良いのであれば、それだけ余裕があるのかどうか、お聞きしたい。

【久保田委員】

提案している発電機については充電式であり、あくまで緊急避難時に使用するものである。実際に災害があった時に使うと考えていただきたい。

【中澤委員】

1番の質問に対して回答が少しずれているのではないかと。前回の全体会議で出た疑問は、緊急避難してきた人たちに、具体的にどういう手順で投光器等を設置し、明かりを点けるのか。具体的な手順なども教えて欲しいというような質問だったと理解している。立派な回答だが、この質問の回答になっていない。

【久保田委員】

実際の緊急避難の時には、一般の人というよりも、避難場所を担当している防災士や防災組織の委員長という方々が駆けつけてくれるだろうと思っている。その人たちが、これらの備品を設置するという段取りになると思う。

【小林委員】

電池を長持ちさせる方法として「高温下に電池を置かないこと」となっているが、直

江津南小学校の備蓄倉庫は非常に風通しが悪く、夏になれば相当な高温になるのではないかと心配である。保管する場所を業者の人にしっかりと見ていただいて長持ちさせることができるような場所に保管していただきたい。

【田村委員】

小林委員と同じような意見だが、備蓄倉庫がかなり高温になりそうな避難場所もある。しかもトタン屋根のところもあり、高温になるのではないかと心配される。それはどうなのか。

【青山恭造会長】

確かに高温が心配されるが、そこは大丈夫なのではないか。
他に意見等ないので協議事項については終了とする。
今後の進め方について、事務局へ説明をお願いします。

【小池係長】

- ・今後の進め方について説明

【青山恭造会長】

次に「その他」について、再度事務局へ説明を求める。

【小池係長】

- ・次回協議会：9月10日（火）午後6時から

【青山恭造会長】

ほかに皆さんから連絡事項等はないか。

【磯田委員】

本日、「天王川クリーンナップ大作戦」の参加募集チラシを配付させていただいた。

日程は9月14日（土）に開催予定である。今年も、昨年と同じく、旧イトーヨーカドーの橋の裏から直江津南小学校の前までのエリアで実施する。

- ・「天王川クリーンナップ大作戦」事業について説明

次に9月1日（日）に開催した「船見公園の夕日コンサート」だが、無事に滞りなく終了した。当日は300人ぐらいの人に集まっていた。感謝申し上げる。

【青山恭造会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。